



自治連だより

第25号

会長就任ご挨拶



鳥取市自治連合会
会長 南部 敏

平成三十年度鳥取市自治連合会総会に於いて本会会長に選任され日々職責の重さを痛感しております。

今後、皆様の期待に応えるべく粉骨砕身努力して行きたいと考えていますので、町内(区)の皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

さて、近年社会環境は大きく多様化し家族の絆や地域とのお付き合いの希薄化、そして少子高齢化、人口減少、人権問題、又想像もしなかったような自然大災害の多発等々何が起こっても不思議ではないような状況がづづいていきます。

このような時こそ自治会組織の重要性を再認識し、困った時はお互いさまの精神で助け合い協力していく事が求められているのではないかと思います。

鳥取市は本年四月一日中核市へ移行、更に鳥取県東部四町に兵庫県新温泉町を加え一市五町と「連携中枢都市圏協約」を締結し山陰東部圏域の発展を目指しています。行政ともこれまで以上に相協力し、相互理解を図りながら魅力あるまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

終わりに各地区町内(区)会及び皆様の益々のご発展とご多幸を祈念し、鳥取市自治連合会へのご協力をお願い申し上げます。

湖山西地区

安心して暮らせるまち 住んでよかったと誇れるまち

湖山西まちづくり協議会

会長 綾木 隆

湖山西地区は、鳥取空港・J.R鳥大前駅を有する交通の要所で、又湖山池・鳥取大学・国際交流施設など景観の良い文教地区です。

そして、湖山西地区は、農村地域の旧集落と新興住宅地域が混在する街並みが形成されています。従来、大学生の多くは旧集落に下宿していて、(湖山町下宿組合もありました)それなりに地域との交流があったものでした。今では、ワンルームマンションのために顔を合わせることも無くなりました。しかし、公民館に向くといつも大学生、留学生、外国の方々が集い、公民館は、国際交流・学生との交流の拠点となっています。さて、平成二十一年度に策定し平成二十七年年度に見直した「地域コミュニティ計画」に基づき、湖山西まちづくり協議会は、協議会を構成する各種団体の事業を支援するとともに、地域全体で行う行事等を実施しています。



湖山西校区町民大運動会

具体的には、自治会、公民館をはじめ各種団体の主体的な活動をまちづくり協議会

が後援し、各種団体の連携を図りながら、全体として湖山西地区のまちづくりに取り組んでいます。

「地域コミュニティ計画」の基本目標(8)

(1)湖山池の自然環境を活かしたまちづくり

(2)みんなで支えあう福祉のまちづくり

(3)安心、安全な災害に強いまちづくり

(4)子どもたちが安心して過ごせる環境づくり

(5)地域ぐるみで交通ルールやマナーを守るまちづくり

(6)老いも若きも健康づくりでいきいきまちづくり

(7)活力ある地域コミュニティでまちづくり

(8)地域文化の伝承と創造による活気のあるまちづくり

この基本目標(8)に、それぞれの実施計画(27)を立てて、毎年の総会では、活動内容、活動目標、実施主体の団体等を明らかにして各種事業を進めています。

最後に、まちづくり協議会主催の大きな行事等を紹介いたします。

①地区民運動会(五月)、②地区防災訓練(八月)、③地区敬老会(九月)、④地区公民館まつり(十月)、⑤西っ子のつどい「クリスマス会」(十二月)、⑥湖山池北岸清掃(五月・十月) ⑦湖山池に関する住民説明会(二月)

今後とも湖山西地区では、「安心して暮らせるまち」、「住んでよかったと誇れるまち」を目指していきたいと考えています。



国際交流



米里地区

雲山南団地町内会の活動

雲山南団地町内会
会長 清水宣二

当町内会は大路川と袋川に挟まれる水田地帯に昭和五十一年から造成された住宅団地で、昭和五十四年に町内会が発足し、現在では会員数三百八十一戸のマンモス町内会となっております。全く新しい方ばかりの町内会なので、歴代会長は近隣の方との親睦を第一に取り組み、今では、他の町内会ではあまり見られない活動を行っております。

①月二回の役員会：老人会・子供会・民生委員も参加する役員会です。
②班会の開催：十六ある班全てが班会を開催し、親睦を図っております。
この取り組みを毎年行っていることもあり、平成元年に自前で建設した町内集会所は十二あるサークル活動で連日大賑わいです。
又会員有志によるボランティア活動も活発で、日交本社前の道路側花壇、大路川土手の草刈り等を定期的に行い、綺麗な環境作りにご協力戴いております。

町内会活動として「大型ゴミ回収・一斉清掃・納涼祭・資源ゴミ回収・文化祭」等を行っており、資源ゴミ回収

は独自の回収方法が成果をあげ、大きな収益を生み、町内会財政を潤しています。

この町内会活動で特筆したいのは文化祭で、毎年約七十名、作品数で約二百点が出品され、町内会以外の方も見学に来られるくらいの出来栄で、当町内会の名物となっております。

当町内会も結成から四十年が経過し、他の町内会同様会員の高齢化が進んでおります。この対策として、災害時避難の手助け、大雪の時の高齢者宅玄関の除雪を目的とした有志によるみまもり隊を結成し、防災会活動の補助的な役割を果たしております。

団地内の町内会にもかかわらず、このような活動が行われていることは近隣の方との親睦を第一に取り組んできた成果で、これらの活動が更に発展することをめざします。



納涼祭

平成三十年度

定期総会

鳥取市自治連合会は、さる五月十一日、とりぎん文化会館小ホールにおいて、各地区より選出された百二十三名の代議員の出席のもと、定期総会及び講演会を開催いたしました。

講演会では、北栄町自治会 前会長山根ひろ子氏をお迎えし、「男女共同参画のすすめ」自治会長を経験してのテーマを通じて、女性役員登用の方策について、新たな着想を得ることができました。

総会では、渡邊会長があいさつを述べた後、永年にわたり町内会活動に功績のあった地区会長や町内会長等を務めて退任された五十三名の方々に對し、鳥取市長及び鳥取市自治連合会長からそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。続いて、深澤市長及び谷市議会副議長からご祝辞をいただいた後、被表彰者



講演会



定期総会

を代表して松保地区の池原範雄氏から謝辞が述べられました。市政概要では、深澤市長から「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」の説明を受けました。

次に、議長団に浦木遷喬地区会長と井上国府地区会長を選出し、議案の審議に入り、以下の議案が承認されました。

- ・平成二十九年度事業報告並びに収支決算報告、監査報告
- ・平成三十年度事業計画(案)及び収支予算(案)
- ・役員承認

新役員

会長	南部 敏
副会長	竹森 貞美
副会長	下澤 理如
副会長	土橋 周美
副会長	田中 雅勝
副会長	新 潤一
監事	安木 恭次
監事	福田 正美
監事	西口 清壽

美保南地区

住みよい・魅力ある
美保南をめざして

美保南まちづくり協議会

会長 西尾義昭

美保南地区は、昭和六十二年に大
川を境に美保地区から分離してで
きた、比較的新しい地区です。人口も発
足当時は四千三百人程でしたが、三十
年間で三千人以上増加し、今も増え続
けています。

美保南まちづくり協議会では、平成
二十二年に「美保南まちづくり計画」
を策定し、①明るく住みよいまち ②
心豊かに暮らせるまち ③ふれあいと
賑わいのあるまち ④地域を愛し誇れ
るまちを目指し、地域の様々な課題を
解決するための事業を行っています。
平成二十五年九月に大路川増水に伴
う避難勧告

が発令され
たとき、地
区・町区自
主防災組織
があまり機
能しなかつ
たことを契
機に、地域
の防災力向
上に特に力
を入れて取



地区総合防災訓練（非常食の試食体験）

り組むよう
になりまし
た。具体的
には、地区
独自の防災
のてびき・
総合防災
マップ・防
災計画・避
難所運営マ
ニュアルを
作成したほ
か、女性の
防災力向上
のための事
業等も行っ
てきてお
り、これらの活動が評価され昨年、鳥
取県自主防災組織等知事表彰の「功労
表彰」を受賞しました。
協働のまちづくりの推進には地域コ
ミュニティの形成が不可欠であり、毎
年地区四大行事（運動会・納涼祭・敬
老祭・文化祭）を開催し、住民相互の
ふれあいと交流を図っています。ま
た、地域情報発信のため広報紙の発行
やホームページにより適時・的確な情
報の提供にも努めています。
今年度は、これまでの取り組みの実
績や効果を検証・評価するため、地区
住民の方々へのアンケート調査を実施
するとともに、防災では体験型の防災
フェスタを開催する予定です。



地区さわやか大運動会

平成30年度
先進地研修視察を終えて

6月14・15日の両日、福井市の旭地区公民館に於いて、鳥取市自治連
合会は事務局を含む26名、福井市自治会連合会は奥村自治会連合会長
様他、副会長・理事・代議員の計10名との研修交流会を行いました。

福井市は人口26万3千8百人、世帯数は10万2千3百戸、各地区自治会連
合会数は概ね小学校を単位とした48地区傘下に1,546の自治会があり、加
入率は75.8%となっている。各单位自治会長及び地区自治会連合会会長は
福井市の行政嘱託員として市より報償金が支払われている。

福井市自治会連合会は地区自治会連合会から選出された代表者（理事）
及び世帯数により割り当てられた代議員を会員として運営されている。予
算規模は会費・参加負担金・市事業補助金・諸収入からなる、総額470万円
程度となっている。単位自治会に関する財政面での支援はないが防犯灯設
置事業補助金、ごみステーション美化協力金等、自治会が行う各事業に対
する補助金制度は充実していると感じる。更に、「地域の魅力発信事業」で
はふるさと納税額を補助金として活用し、住民主体のまちづくり、特色を活
かした魅力ある事業化、地域が発展・成長するための連携事業などの活動
にソフト事業のみに限定した支援を行うなど学ぶべき事が多かった。



これらの諸事業に2時間枠一
杯、忌憚なく質疑を行うことが
できた福井市自治会連合会の皆
様との充実した交流会に感謝を
申し上げ、ご報告といたします。
（文責／副会長 田中雅勝）

編 集 後 記

定期総会を終え前渡邊会長が勇退され、南部会長が選任されて新体
制となりました。
今号も、他市や各地区から寄稿を頂きましたが福井市自治会連合会
との視察研修会の内容も含め、いずれも並々ならぬ意欲と熱意と自信
を感じました。現在の世情は「予測不能の時代」と言われています。
だからこそ地区住民が主体となった画一的ではない「特色あるまちづ
くり」が求められているのではないのでしょうか。
（広報委員長 田中雅勝）